

○ 本校の概要

大正9年に、矢口村立矢口西尋常小学校として開校し、今年度103年の歴史のある学校である。前身の江戸時代に開かれた豊岡塾から数えると、下丸子の地に約200年の歴史を刻んでいる。現在は普通学級20学級、特別支援学級3学級、全校児童655人の比較的大規模な学校である。昭和に建てられた鉄筋校舎が老朽化し、現在新校舎の設計が進み、本年度より仮校舎建設が始まる。校庭が半分になるので、夏以降の体育的活動を工夫して実施していく。平成21年に作られた「ほたるの里」では、地域の方々の協力で4年生の総合的な学習の時間「ほたるの学習」をしたり、近くに多摩川があるので遠足や理科、総合的な学習の時間に観察などに行ったりして地域を活用した学習に取り組んでいる。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成する...', 'スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくり出す', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に関わった教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。'

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す